

ひとり親
のための

正規雇用

ステップアップ

連続セミナー

一人で子育てをしていると、理想の暮らしや仕事について考える時間はなかなか取りづらいものです。本セミナーでは、理想の暮らしの設計方法を学び、ひとり親へのサポート情報入手できます。また、就職相談や企業とのマッチング支援も受けられます。気軽に参加してください。

▶対象者

本市在住のひとり親で、正規雇用を目指そうとする方、転職や就職を希望する方

▶日程 10月30日(日)、11月13日(日)

▶時間 午後1時30分～3時30分

▶会場 本庁 2階 大会議室

▶定員 30人程度(先着順)

▶申込方法 10月18日(火)までに電話で申し込んでください。

▶その他

右の二次元コードからセミナーのページにアクセスできます。

<https://www.city.toyooka.lg.jp/kosodate/hitorioya/1022876/1023790.html>

《申込み・問合せ》社会福祉課 ☎21-9038

参加費
無料

嬉しいお土産付



トータルコーディネーター

小安美和さん(株式会社Will Lab代表取締役)

この先どのように生き、働いていくか。一人で不安になることはありませんか？

ひとり親の先輩の話を聴いたり、積極採用企業の話の直接聴いたりしながら、自分の強みを見つけ、自信を持って一歩踏み出せるお手伝いをします。

ひとり親家庭に支援情報をお届け
「豊岡市ひとり親応援LINE」を開設

ひとり親家庭の皆さんに支援制度やセミナー開催などの支援情報をタイムリーに発信するため、公式LINEアカウント「豊岡市ひとり親応援LINE」を開設しました。「友だち追加」をお願いします。なお、LINE相談には対応していません。

▶登録方法 次のいずれかの方法で登録できます。

▷右の二次元コードをカメラアプリ等で読み取る

▷ID「@537dwuzq」で検索し、友だち追加する。



スッキリ!? 「脱 男だから、女だから」を語る会

～男性にとっての壁は何か。男性のもやもやの解決を応援します～

伊藤公雄さんを講師として招き、ジェンダーギャップ(社会的・文化的に作られた男女格差)の解消の必要性を、男性学(男性社会を男性の目で読み直し、男性にとってより生きやすい社会を構想するための学問)の視点から分りやすくお話しいただきます。コーヒーでも飲みながら、緩やかに語る場です。気軽に参加してください。

日時 10月29日(土)午前10時～正午

場所 本庁 2階 大会議室

▶内容 ▷講演「男性にとってのジェンダーギャップ解消の意義」▷意見交換

▶対象 本市在住・在勤の男性

▶定員 20人(要申込・先着順)

▶講師 伊藤公雄さん(京都産業大学現代社会学部客員教授、京都大学・大阪大学名誉教授)

▶申込方法 電話またはメールで、氏名・年齢・住所・電話番号を連絡

▶申込期限 10月21日(金)

《申込み・問合せ》ジェンダーギャップ対策室 ☎21-9004

メールw-innv@city.toyooka.lg.jp



地域おこし協力隊紹介 ～私と活動と、時々、暮し～

都市部から地方への移住を促進する国の制度「地域おこし協力隊」。個性溢れる隊員自らが活動を紹介しますシリーズ！

《問合せ》環境経済課 ☎21-9096

vol.17

豊岡をサステイナブルシティ
(持続可能なまち)に

なか た たつき
中田 樹

任意団体
「COARS」
インスタグラム



日高生まれ北播磨育ち。大のアウトドア好き。昨年6月フランスから帰国。起業型協力隊として、フランスでの学びや経験を活かし「持続可能なまちづくり」のプロジェクトに取り組んでいる。

「現場」を知るために豊岡に

地元の高校を卒業後、京都の大学でフランス語を専攻。卒業後はフランスで1年半就業し、2年間現地の大学院で農業政策と持続可能な開発について研究しました。大学院卒業後は東京の農業関係の会社に就職する予定でした。しかし、あるとき祖父から「土を触ったことがない、野菜を育てたことがない、現場を全く知らずに何が分かるのか」と言われて、とても考えさせられました。豊岡に来た理由はさまざまですが、一番のきっかけは祖父のこの一言でした。

「自然資源」と「ひと」が豊かな豊岡に魅了されて

祖父母の家が日高にあり、夏は竹野、冬は神鍋によく訪れていたのが、豊岡にはもともとなじみがありました。また、自然が豊かで地域の方がアットホームという点が、以前住んでいたフランスの街リールとどこか似ていて、魅力的に感じました。フランスは食品ロスやプラスチック等のゴミ問題への取り組みが進んでいる環境先進国です。フランスで取り組まれているモデルを参考に、豊岡をサステイナブルシティにし

ていきたいと考えています。

豊岡で目指す循環型まちづくり

私の主な活動は二つです。一つ目は、自然資源を活かしたバルク(量り売り)ショップの開業準備です。ゼロウェイスト(※)な地域社会を目指し、そのきっかけとなるようなお店を展開したいです。

二つ目は、今年設立した任意団体COARS(コアーズ)での活動です。生産者や農作物のブランディングや販路開拓を行ったり、食・農業に関するイベントを企画したりして、農業の魅力や価値を伝えるお手伝いをしています。

地域の食や農を通じて、豊岡が日本のサステイナブルなまちのモデルになることが目標です。

※ゼロウェイスト(ごみをゼロにすることを目標に、できるだけ廃棄物を減らそうとする活動)



農家を手伝い、現場を学ぶ中田さん

地域に新たな風を

地域おこし協力隊の受入団体を募集しています



本市では、45人(9月1日時点)の協力隊員が、地域の方と共に地域活性化等の活動を行っています。

協力隊員と一緒に地域課題などを解決したいと考えている団体(NPO法人、一般社団法人など)は、右の申込フォームから申し込んでください(飛んでるローカル豊岡ホームページ)



協力隊員の活動例

- 観光振興・情報発信
- 地域のコミュニティナース(地域で活動する看護師)
- 伝統技術の継承
- 1次産業の活性化
- 地域性の高い生業や事業の承継(継業)

※申込後、地域課題等の内容を聞き取りし、協力隊受入れの可否を決定します。

※次回の協力隊員の募集は12月上旬を予定しています。

《問合せ》環境経済課 ☎21-9096